広報 あさひまち 8 1990 AUGUST 月号 NO.405
ASAHI-MACHI

シリーズ〝働く〟

夢は日本一の庭園づくり

パチパチパチ、軽やかなハサミの音が響く。「松をはさむのが一番むずかしいんですよ」と慎重に刈り込むのは白田淳一さん(大谷三・28歳)。高校を卒業し、福岡県の短期大学造園科で庭園の設計を主に勉強。二年間実技修業のため県内の造園業者へ。そして家業を継いで今年で七年目。

野球、ゴルフと活動的趣味を持つ彼だが、将来の夢はじっくり構想を練り、歴史に残る日本庭園をつくることだ。

守りから攻めの農業戦略を展開

―朝日町農業振興計画答申―

経営基盤を整備し後継者の確保を

わが町の五十歳以上の農業就業率は、全体の六十八パーセントを占め、新規学卒就農者はほとんどいない状況にあり、二十一世紀を担う農業後継者の育成と確保が最大の問題として取り挙げられます。

就農者の高齢化や、後継者不足に伴い、農地の遊休化、荒廃化が進む中で、いかにそれをくい止め農地を有効利用してもらうかが課題といえます。

このため、農業経営基盤の整備や確保なくして、中核農家や後継者確保はむずかしく、農業の将来について各地域で真剣に話し合い農業の振興を図るため農業の担い手へ農地の集約を行い、農作業の受委託等を推進する必要があります。

児童生徒や農家以外の人々にも農業に対する理解を深める意味で、学校教育、社会教育の中に農業体験学習や農業講座を積極的に進める必要があります。また農業者自身、技術革新など社会情勢の変化に的確に対応できるように研修派遣制度を検討すべきであります。また今後増えるであろうUターン就農者の受

け入れも重要なポイントで、きめ細かな営農指導が期待されると指摘しています。

専門部を設置し消費者ニーズに対応

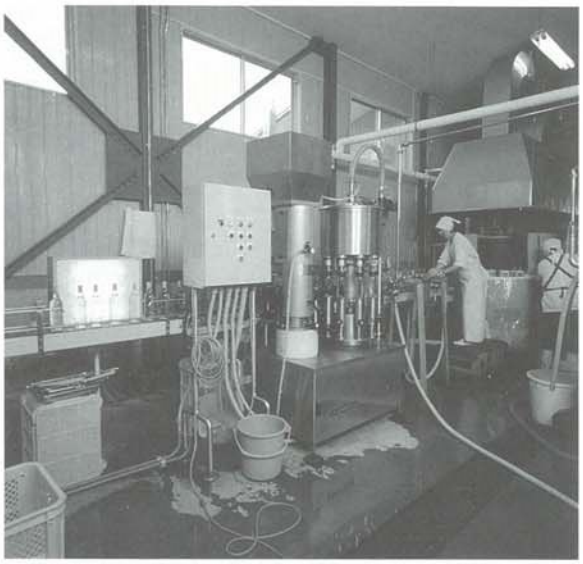
農業の新技術、試験研究の開発、消費者の農産物に対するニーズも変化している中で市場評価を得るためには、安全で品質と味と鮮度が良く、ファッション性のある農畜産物の生産が欠かせません。

これらの状況に的確に対応するため行政、関係機関で組織する専門部を設置し、迅速な情報の収集・消費者ニーズの調査を含めた広範な研究活動を行い、営農者が必要とする情報を提供します。さらに都市住民との交流を進めながらその中で得た情報の活用を図り、市場適応型農業への展開をめざします。

農産物の附加価値を高め販路拡大

市場競争力のある産地形成と銘柄の確立を図るため、当町産良質りんごの一層の消費拡大を推進しなければなりません。またその他の作物についても販路拡大に取り組み、生産者・関係機関が一体となって販売戦略を展開する必要があります。

農産物の付加価値を高め、販売の広域化、消費拡大を図るためには、農産物加工の開発も行わなければなりません。果汁・菓子類・漬物・食肉加工等、新鮮かつ高品質な農畜産物を材料にした製造食品は、健康食産業として大きな市場になり得るものと期待されています。



農産物加工では先導的役割を担っているワイン工場

昭和六十三年四月に町は、農業の有識者や、農家代表からなる農業振興対策研究委員会（浅岡米五郎委員長外十四名）に、十年後の農業のあるべき姿を諮問しました。その間昨年六月中間答申、そして八月二日本答申（提言）がなされました。

この中で、「消費者の立場に立って売れるものを作る」という視点で、生産・流通・販売の各段階にわたる振興策を中心に、四つの柱を掲げて諸施策を積極的に展開すべく提言を行っています。今回はその答申の内容をリポートします。

ます。

また販路拡大として、杉山地区に湘南地区（神奈川県藤沢市）住民が来町し、納豆大豆の種蒔・収穫ツアーを試みました。このような都市住民との交流を通した新たな販売方法があります。また、包装デザインやネーミング・フライト輸送等ファッション性のある商品イメージの向上、さらには、守りの農業から攻めの農業を実現するため、果樹などの海外輸出の検討なども指摘しています。

複合経営で高収益農業

当町の土地条件は、大規模な土地利用型農業ができる土地はないが、中山間地域の特徴を生かした重点作目（りんご・米・畜産）を設定し、経営の危険分散を図る必要があります。それに戦略作目（ラ・フランス・さくらんぼ・大粒系ブドウ・花卉・花木）、新規導入作目（山菜）を取り入れた複合型経営を図るべきと指摘しています。

また、所得目標については、農業以外の人々にも進んで農業に就業したくなるような農業・農村社会にするため、他産業従事者と同等以上の労働報酬がなければならず、所得目標を八百万円としています。

水

稲については中核的農家や、農業後継者の確保のため農地の流動化や農作業受委託を推進し、属地的な集団化により土地集約

を行う。また規模拡大をすることによって、コストの低減を図るとともに、高栽培技術の普及に努め、銘柄米産地の定着と品質向上を併せた高生産性収量の確保をめざします。

特殊米（有機栽培米・じゃ香米）の生産販売については、栽培技術の確立とともにネーミングの活用を図り町のＰＲにも役立てるとしています。

畜　産については平成三年四月に牛肉輸入自由化となり益々きびしい状況になります。このことから生産コストの低減・肥育技術の改善と指導の強化をしながら乳肉一貫経営の推進と定着を図るとしています。また繁殖センターを設置し素牛の安定確保を図ると同時に畜産の副産物として生産される堆肥は、土づくりの原料となるもので、有機栽培による差別化農作物と結びつける必要性を提言しています。

果　樹部門では、当町における農業粗生産額の五十五パーセントを果樹で占めている点でりんごについて特に提言しています。

昭和四十五年全国に先がけてふじの無袋栽培に着手、産地ぐるみで銘柄の確立に努力した結果、全国に名の知れる産地として高く評価されてきました。しかし、国内産りんごが百万トン時代に入り産地間競争の激化や輸入果物の品目量の増大に伴って、小量多品目の傾向が益々強くなる中で、高品質のものでなければ有利販売の困難な時代となりつつあります。

これらに対応するため、樹園地や農道改良など条件整備を行い作業効率を高め、散在する園地の団地化を図り施設の共同化でコストの軽減を図るべきであります。

ワインの原料はほとんど町内産ブドウだ。

連日出荷される夏野菜（農協集荷場）

とも重要な課題

小林町長に答申書を渡す浅岡会長

湘南の人たちが訪れた「納豆ツアー」

また品質の向上に向け、全栽培者が高い技術で生産されることが望ましく、現地研修や講習会などに努め、選果の強化が大事であると指摘しています。

また、老木化している樹は品種更新を図る。労働力確保については、家族労働を基本としながらも、集中期における季節労働力確保のため、地域ぐるみによる労働力需給調整、雇用対策など行政を含め関係機関・生産組織一体となり、調査、推進する必要があるとしています。

農業就業者の高齢化対策として、樹形の低木仕立てを進めることと併せ、品種品目の統一や中密植栽培による早期多収穫技術の普及に努め、経営上大きな危険を伴う場合もあり果樹同士や他作物との複合化も検討すべきであります。

輸出振興対策については、昭和六十二年度にヨーロッパ向けに試行販売されて以来、毎年アセアン諸国の一部へ輸出拡大されており、生産コスト、流通コスト低減により、これら諸国の食品市場に参入しうる余地は十分あり、地域別実施具体策に基づき輸出拡大を図るべきであると指摘しています。

畑　作物については、果樹、特用作物以外については野菜等自家用として栽培されているのが大部分であり、桑園が遊休化しておりその有効利用が望まれます。畑作部門のみで所得目標を達成することは容易でなく、米・畜産等との複合経営の中で副次部門として適合作物を選定することや、消費のどこにターゲットを置くか（山形市、仙台市、東京）検討する必要があります。

栽培作目としては、町内の標高五百メート

ル以上のところに高冷地野菜団地を検討する必要があります。

中山間地の野菜は主として夏大根などのほか、タラの芽などの抑制栽培等を検討して特産品の生産方式の確立をめざします。花卉花木については傾斜地を利用できる点、漬物については、りんご等を利用した特産品の開発等を指摘しています。

特用作物の葉たばこについては、畑の集団化・ホップについては施設の共同利用等により生産性の向上に努め、ともに複合作物として適したものと指摘しています。

今こそ実験的行動を

朝日町農業振興対策研究委員会
会長　浅岡米五郎さん

昭和63年４月、町長より10年後の町農業のあるべき方向とその対策について諮問をうけ「朝日町農業振興対策研究委員会」が発足しました。２年３ヶ月の間、全体会・小委員会等数回にわたる会議を持ち、与えられた課題についてそれぞれの立場、経験、資料、情報を持ち寄って検討を行ってきました。

今日の農業情勢は、国際的な外圧に伴う貿易の自由化要求によって農畜産物輸入の大幅な拡大を迫られております。また一方では米の減反政策や後継者不足、就農者の高齢化、遊休農地の増加等農業は大きな転換期を迎えようとしております。当町においては後継者が意欲的に農業に取り組める手だてや基幹作物であるりんごの高価格販売の方途、農地の流動化と有効利用・朝日自然観やのんぼかの森を核とした新しい農業の展開等守りの姿勢から攻めの姿勢を堅持しなければなりません。

このたび朝日町農業振興計画を答申するにあたり、将来当町の農業が希望を持って就業出来るよう研究討議したものを取りまとめ、今後の農業振興に役立てば幸いと考えております。

都市住民との交流の接点として期待される自然観

後継者育成は最っ

自然観・のんぼかの森を核とした都市とのネットワークづくり

最後に山間地の農業振興について、基本的な考え方とその方向を示しています。ふるさとをもたない人々（都会人）のためにも、朝日町の美しい自然・水・森林・空気・静寂・風景を題材として、都市住民との交流を通し情報を収集し、自然観・のんぼかの森を核として都市とのネットワーク作り（農産物の直接販売等）を行うよう提言しています。

早急な対応のため専門部を設置

町ではこの答申をふまえ、早急な対応が必要なものについて、検討・実現を図る考えです。

土地の有効利用を図るため、本年度モデルケースとして中郷本田堰水系を対象に土地管理組合による土地利用調整を推進する計画です。

また、農産物の高品質化をめざすため選果の統一的強化を図ることが必要です。その結果、規格外についての商品化も必要なことから、附加価値を高めるための農産加工の研究開発・農業者が必要とする情報の収集、バイオテクノロジーの導入普及等、指導体制を確立するために、平成三年度行政及び農協で組織する専門部の設置を行う計画です。

町政スポット

雹に打たれたリンゴ

被害調査を行なう町農業委員会

農産物に降雹被害
総額七億五千四百万円

七月二十四日夕方、和合、玉ノ井地区を中心に雹が降り農産物に大打撃をあたえました。

七月二十四日午後五時二十七分頃から四十分頃までの約十三分間に一円玉大の雹に見舞われました。

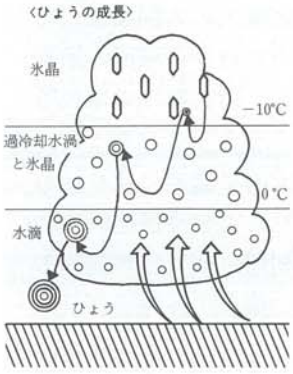
町では早速被害地範囲の情報収集を開始し、翌日早朝「七・二四朝日町降雹被害対策本部」を設置し、県、農業改良普及所、農協など関係機関と連絡をとり被害調査と対策について協議を行いました。

調査の結果、被害の範囲については、中沢、栗木沢、真中、舟渡、大谷、大隅、和合、和合平、川通の一部、送橋、西平(古槙)、四ノ沢の一部で面積は二百八十三・八ha、七億五千四百万円に上りました。被害が最も大きかったのはリンゴで、二百六十ha、六億九千七百万円。次いでブドウの一千八百五十万円、タバコ一千四百万円、ホップ八百万円、アケビ五百万円、モモ百八十万円、ラ・フランス五百万円などとなっています。

七月二十八日開かれた対策本部会議には、本部長の小林町長はじめ、関係機関より約三十名が出席。今後の対策としては防除体制の強化と補助制度の検討。被害果実の販売については生産者、農協、町が一体となり加工用販売先の確保に全力を上げることなどを決めました。

ひょう(雹)メモ

積乱雲などからふってくる直径五㎜以上の氷の粒。積乱雲のように上昇気流がひじょうに大きい場合、0℃以下の層で氷晶(ひょうしょう)が過冷却水滴をとらえて大きくなり、何回もふき上げられて数cmくらいの直径となり落下したもの。雷雨時に多く発生する。



町民総参加で〝べにばな国体〟を成功させよう!!

朝日町実行委員会設立総会開催

二年後にせまった第四十七回国民体育大会〝べにばな国体〟に向けた、実行委員会設立総会が七月二十七日、中央公民館で行われました。

町ではデモンストレーション行事として壮年ソフトボール競技が開催されることがすでに決定されていますが、今回の実行委員会の設立によって、開催に向けた取り組み体制が整ったことになり、本格的準備に着手することになりました。

総会では、これまでの準備に係る経過が報告された後、実行委員会の会則について協議、万場一致で会長に小林町長が選出されました。続いて開催基本方針、平成二年度事業計画、常任委員会や専門委員会の設置などが原案どおり可決。

これからは、朝日町に集う県内のソフトボール選手をあたたかく迎える準備と大会の成功に向け、実行委員会を中心に町民みなさんの協力がのぞまれるところです。

QC活動で技術力向上をめざせ

第11回　朝日町工業大学校開催

町内の企業戦士が一堂に集合

町工業振興協議会（阿部宗一郎会長）が主催する朝日町民大学第十一回工業大学校が、七月十二日、十三日の二夜にわたり農業団地センターで開かれました。

会場は町内十二事業所の職場からまっすぐ駆けつけた二百六十名の受講者でいっぱい。仕事の疲れもみせず二日間の学習に取り組みました。

一日目は「現製造業における品質管理のあり方」と題し、㈱ジューキ顧問内山真人氏の講演。「固有技術が劣ってもＴＱＣレベルを上げることによって、大きな効果を上げることができる。技術力の優れているアメリカ産業が、日本産業に押されているのはＴＱＣの差である」とＱＣ活動の大切さを強調。続いて「ＩＭＢＬ柱立て時間短縮と組み違い防止」のテーマで、山辺町の㈱石沢製作所のサークルからモデル発表がありました。

二日目は町内の四事業所の代表サークルによるＱＣ活動の発表があり、仕事の合間に仲間と研究を続けた成果の発表に、受講者は熱心にメモをとりながら聞きいっていました。

大井所長さんご苦労様でした

「朝日町東京連絡事務所」の閉所について

大井尚武前所長

町の観光物産の情報提供、企業誘致や就職、Ｕターン者の情報収集活動のほか後継者の結婚対策など、９年間にわたり町の振興発展に幅広く活躍いただいた「朝日町東京連絡事務所」をこのたび閉所することになりました。

その理由は大井所長さんの会社の業績が大きく伸びており、その経営に専念しなければならないこと。さらには町としても「朝日自然観」が出来たことにより、本格的な営業活動が必要で、そのためには専任職員を配置した東京事務所を設置すべきではないかとの意見で、ぜひこの機会に身を引かせて欲しい、という強い要望がありました。

町では大井さんのこれまでの所長としての業績に感謝するとともにその意志を尊重し、今回一旦連絡事務所を閉じることにしたものです。

今後、専任職員を配置した東京事務所を開設するかどうかは町民の方々と充分協議しながら進めていく考えです。それまでの間は大井さんの協力を得ながらこれまでのような業務を続けますが、必要な経費は業務ごとに支払いすることにしています。

10月１日は国勢調査の日です

はじめまして、ぼく「センサスくん」生まれたばかりなんだ。でも、10月１日の国勢調査にはちゃんとぼくのことも書いてもらうんだよ。だって、赤ちゃんから、おじいちゃん、おばあちゃんまで日本に住んでいる人はみ〜んな対象になるんだもん。

調査結果は、将来のより良い暮らしに役だてられるんだよ。調査員がみなさんのお宅にいったらご協力よ・ろ・し・くネ。

涼を求めて家族連れ2,000人

第8回 朝日川渓流まつり

連日30度を越える厳しい暑さが続くなか、朝日川渓流まつり・魚のつかみ取り大会が八月五日、立木河川公園で開催されました。

当日は、〝涼〟と〝大漁〟をあて込んだ家族連れなど2,000人が魚のつかみ取りに挑戦しました。

まつりでは、ニジマスやヤマメ、コイなど一般のつかみ取りの他、幼児を対象にした金魚すくいや婦人のウナギつかみどりコーナーも設けられ、歓声を上げながらもウナギをしっかりつかまえているお母さんたちに盛んな声援が送られていました。

また、会場には地元立木地区で用意した、焼魚などを売る露店も立ち並び、まつり気分も最高でした。

これまでにない人出でにぎわった渓流まつり

〝空気情報〟発信基地誕生

ブナ林に囲まれた「空気神社」完成

世界で初めて新鮮な空気をご神体とした神社「空気神社」が朝日自然観の一角に完成し、七月二十七日完工式が行われました。

完成した社殿は、五m四方のステンレスの鏡を設置して、四季の自然の移り変わりを鏡状のステンレス板に映し出すもの。また地下には、素焼きの瓶（かめ）十二個と鳥居を設置、ステンレスの鏡に音を反響させる仕組みになっています。

式では、建立奉賛会員ら約三百名が出席。菅井敏夫建立奉賛会長が社殿で初参拝し、「ここ白倉を大気保全発祥の地として世

大汗をかきながらがんばったうどんづくり

親子で〝うどんづくり〟

――大暮山家庭教育学級――

七月二十二日、親子で〝うどんづくり〟が大暮山分校で行われました。この行事は北部公民館が主催し、分校、PTAの共催で実施している家庭教育学級のひとこま。

当日は左沢で菓子店を経営している柴田厚さんの指導のもと、16kgの強力粉を幼児、生徒二十三名、父兄十五名で二時間ほどかかり五〇人分の麦切りをつくり上げました。なかには抹茶を入れた抹茶麦切などもあり、粉まみれになりながらつくった後の試食会では、おかわりをする生徒も多く、みんなで手づくりうどんに舌鼓を打ちました。

活動は足元から

西部壮年会が熊ノ山整備

7月10日早朝、西部壮年会（佐竹庄吉 会長）会員35名は健康増進センター、西部公園グラウンド周辺の花だん整備、草刈り作業に汗を流しました。

西部壮年会は、西部地区の地域づくりの中心的組織になっている団体で、今回の奉仕作業は西部地区公民館の移転が計画されている熊ノ山を整備しようと実施されたもの。

夏休みをむかえ、育成センターでの合宿などにより連日熊ノ山周辺には子どもたちの元気な声が響きわたっています。

自分たちにできる身近な活動から実践している壮年会

今年は〝加賀の島〟誕生

大沼浮島々まつり

大沼浮島には昔から六十四の島が浮遊しているといわれています。

七月十五日、今年新たに誕生した島に命名する恒例の伝統行事「島まつり」が行われました。

この日は、「島を動かすと雨が降る」という言い伝えのとおりあいにくの雨空。それでも、村人四十名と大江町や寒河江市から来た信者が見守るなか、神事と命名式が厳粛に行われました。

今年誕生した島は〝加賀の島〟と名づけられ、新たに多くの島の仲間入りをしました。

また、今年は神社の参道改修工事を氏子たちの労力奉仕により完成させるなど、観光地〝大沼浮島〟として着々と整備が進められています。

五穀豊穣を願って命名された〝加賀の島〟

社殿内部には12個の瓶（右）
ブナと大空を写しだす神殿（左）

界に宣言する」とあいさつ。この後、国の重要無形文化財の谷地舞楽が奉納され、優雅な舞いの足音が地下から鏡にこだましていました。

今年十月には、朝日自然観オープン一周年を記念し、空気シンポジウムの開催など多彩なイベントが予定されています。

また、愛知県春日井市で十一月に開催される空気をテーマにしたシンポジウムで、奉賛会の活動を発表するなど、朝日町から全国へ空気情報が発信されます。

ふるさとめぐり〈4〉

老いも若きも楽しい地区づくり

夏草

子どもたちに大好評の魚のつかみどり

町の中心地宮宿から西へ二・五kmの夏草地区は神々への信仰のあつい集落で、地区内には、白山神社・地蔵尊・古峯神社等があり、それぞれ祭典の日には多くの区民でにぎわいます。

しかし、子供からお年寄りまで一堂に会して楽しむ行事がほしいと、さる七月二十二日の日曜日、第一回区民レクリェーション大会が行われました。

子供たちは、イワナのつかみどり、お年寄りは班対抗のゲートボール大会、その他パン食い競走などを行い、大会終了後にはつかまえた焼魚を囲んでのビアガーデン。それに花火大会・カラオケ大会で楽しい一日を過ごしました。

夏草地区には営林署の西五百川担当区や双葉住宅団地があります。また宮宿に近いこともあって転出する人もある反面、転入者も多く、地区民の融和がより大切になっていますが、その意味でも大変有意義な一日でした。

現在、地区内県道の改修が予定されており、快適な地域への発展が期待されています。

（阿部政彦　広報委員）

四ノ沢堰は村の宝

第一回ちびっこ笹舟選手権大会

延宝六年（三百十二年前）から先人達が血と汗と涙で改修工事を営々と続けている四ノ沢堰。その歴史と、それを守る事の重要性を理解してほしいという主旨で七月一日「ちびっこ笹舟選手権大会」が四ノ沢堰で行われました。

当日は、幼児から小学生まで35名がそれぞれ自慢の手づくり笹舟を持って集合。全長三百六十mのコースにスピードを競いました。

堰の上流域には、産業廃棄物処理場やゴルフ場建設が話題になりつつある折から、公民館では今回の行事を機会に、四ノ沢堰や水に対する関心が高まればと話してくれました。

清流を守りたい四ノ沢堰

ひろば

■連絡先
役場企画情報課
企画広報係へ
☎67−2111（内222）

朝日町のPRもやりたい

〝ミス花笠〟に選ばれた長岡さん

年　齢　20歳
趣　味　園芸・スキー
血液型　ＡＢ型

「二十歳の記念にとかるい気持ちで応募したら、いつの間にか〝ミス花笠〟に選ばれていました」と語るのは、石田渕出身で長岡美幸さん。（父・美喜雄さん）

今春、県立米沢女子短期大学を卒業し、山形市内の会社へ就職したばかりの社会人一年生。「新聞紙上の人気投票では、朝日町の皆さんから応援していただきとても感謝しています。また職場の先輩方のご指導とご協力があって〝ミス〟になれたので、皆さんの期待に添えるようがんばります。」と控え目ながらしっかりと語ってくれました。

八月六日から始まった〝山形花笠まつり〟出演が初仕事。「これからは、山形のピーアール娘として全国各地を飛び回ることになりそうなので、朝日自然観やりんごの宣伝もやってきたいですね」と心強い助っ人宣言をしてくれました。

冷たい麦茶で安全運転

夏の交通安全運動展開中

七月二十四日、夏の交通安全運動シートベルト着用強化指導が、和合果実流通センター前駐車場で行われました。

当日は、警察、町交通安全協会役員、町安全運転管理者協議会連合会役員、町交通安全母の会など各団体より十五名が参加。特に交通安全母の会では、ドライバーに冷たい麦茶をごちそう。自然観帰りの山形市内の家族連れは、「ちょうどよい休憩になりました。安全運転で帰ります」と思いがけぬごちそうに感謝していました。

麦茶を差し出す交通安全母の会会員

〝地球にやさしい〟手づくり洗剤

使用済の食用油から食器洗い用の洗剤が作れることを知っていますか。

この洗剤はだれにでも簡単に作ることができ、コストも安く公害も出さず、手荒れもしないという一石三鳥のもの。

作り方は、使用済の油に冷めし、可性ソーダ（薬局より購入）と熱湯を準備しかき混ぜるだけで出来あがり。市販の洗剤と比較しても汚れ落ちはよく、泡ぎれがとてもよいとのこと。

現在、町内三保育園で使用していますが、手荒れがひどかった人もこの洗剤を使ってからスベスベになったとか。作り方を詳しく知りたい方は保育園までご連絡下さい。

ゼリー状の無公害洗剤

ぼくのおばあちゃん

大谷七　堀　史伸くん
（大谷小６年）

堀　よ志ゑさん
（79歳）

ぼくのおばあちゃんは八十一歳ですが、毎日牛のせわをしています。

最初にタンクから配合飼料を一頭一頭にあたえ、食べぐあいをみて、その後わらを食べさせて水を飲ませます。

牛の顔や工サの食べ方で牛の健康状態がわかるそうです。ぼくもたまに手伝いをします。

牛の大好きなおばあちゃん、これからも牛のせわをして長生きしてください。

町民の

このひろばはみなさんのページです。話題やご意見、作品など、ご自由にお寄せ下さい。

隣のリンゴ家族

堀ひのき　(20)

ひとことトーク

渡辺　美行さん
（下芦沢・23歳）

がんばれ少年剣士たち

"継続は力なり"

私は剣道をやっています。と言うときまって「長い物は持たせらんねなあ」といわれます。確かに思わず素振りをしてしまいますが、決して〝メーン〟なんてやりませんので誤解のないように。

今は、送橋剣道スポーツ少年団で小学生と一緒に練習をしていますが、指導することのむずかしさを毎回痛感しています。でも、試合で勝ち負けする姿を見るとあれも教えたい、こう直したいと意欲がわいてきます。

子供たちがここまで頑張ってきた姿を見ると、ずっと剣道を続けてほしいと思わずにはいられません。

〝継続は力なり〟。私は唯一自信を持てる剣道を体力の続く限り続けようと思っています。

ふるさと人国記 4

村山善一郎

—朝日町の初代町長—

ふるさとの未来を思い、ふるさとの人々と語り、自ら先頭に立って村のために尽くし、新しい町のために尽くした一生は偉大である。ふるさとの風土の中で、ふるさとのために命を賭けた生きざまは限りなく尊い。

明治二十七年九月、善一郎は大谷粧坂の村山国次氏長男として生れた。日清戦争がはじまって間もないときである。

楯岡農学校を卒業した善一郎は、県農業試験場で実務の研修に励み、この間一年志願兵として軍務に服した。

帰郷後、大谷農会の嘱託として農業技術の指導に当たっていたが、昭和五年には大谷村収入役に就任。以来、十三年には満州移民計画の推進役を担い、北満の地に「大谷村」誕生というきっかけをつくった。さらに、十五年には大谷村耕地整理組合理事長として、開田のための貯水ダム（現 馬神ダム）の建設を推進したが、完成半ばにして召集となり出征した。

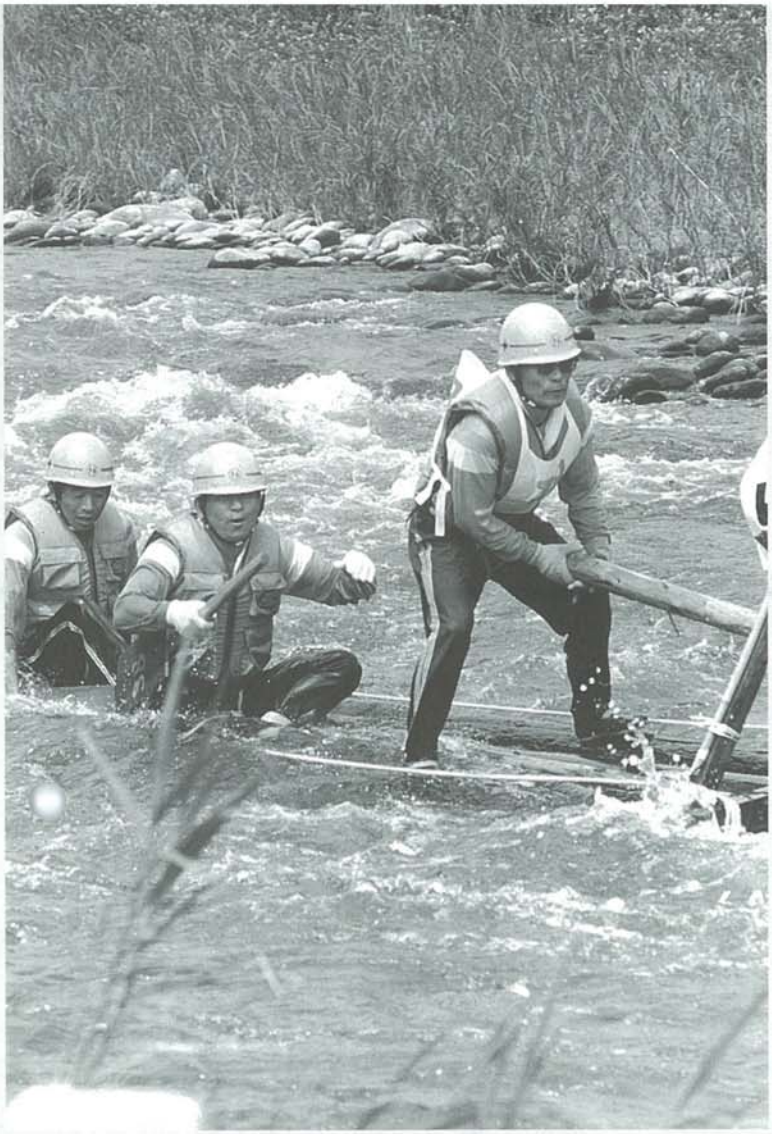
戦後、復員した善一郎は公選第一回の大谷村長選挙に出馬、はげしい選挙選の末に当選。昭和二十九年十二月には、一町二ケ村の合併による朝日町の初代町長となる。

「愛町心の高揚」と「新農村の建設」を施政の二本柱として二期八年間、豊かな農山村創造への取り組みを展開した。

退任後、休む間もない三十八年四月に県議会議員に当選、今後の活躍が期待されていたが、任期半ばにして病床に臥す。

昭和四十年十月十二日没。同年十月二十五日に朝日町名誉町民（第一号）の称号を受ける。

文・杉　ひさし



一気に〝お八天〟の瀬をのりきる川通丸

〝ほっけのがんがん〟を越えて五百川橋へ

ヤッタゼ!!　県外チーム初優勝

第8回　最上川激流全国イカダ下り選手権大会

炎天下のもと、七月二十二日第八回全国イカダ下り選手権大会は、県内外の五十五チームが参加し、日本三大急流最上川五百川峡谷で展開されました。

今年は、昨年までの常勝チームが出場しないため横一線の戦いとなり、地元勢を押え仙台市から参加した「ヒゲの丸太丸」が一時間九分三十六秒で見事初優勝を飾りました。

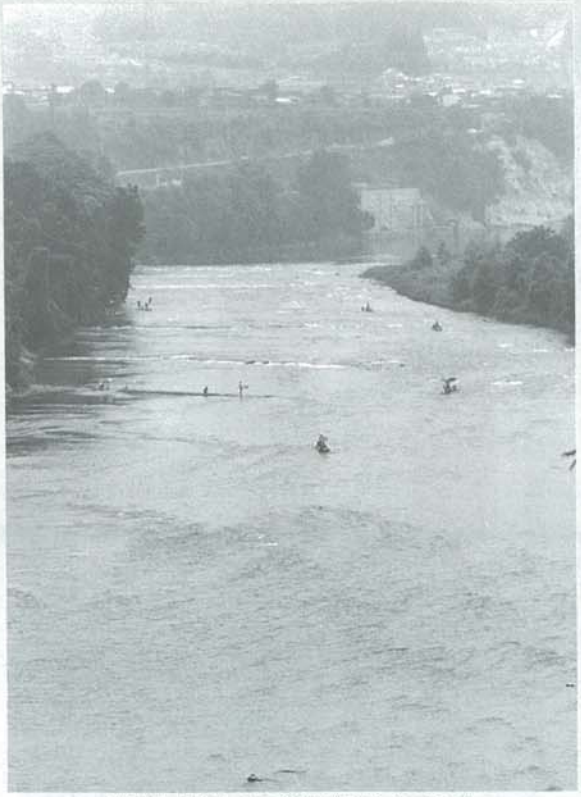
また、アメリカ・コロラド州の青年たちも参加し、国際色豊かな大会になりました。

入賞チーム

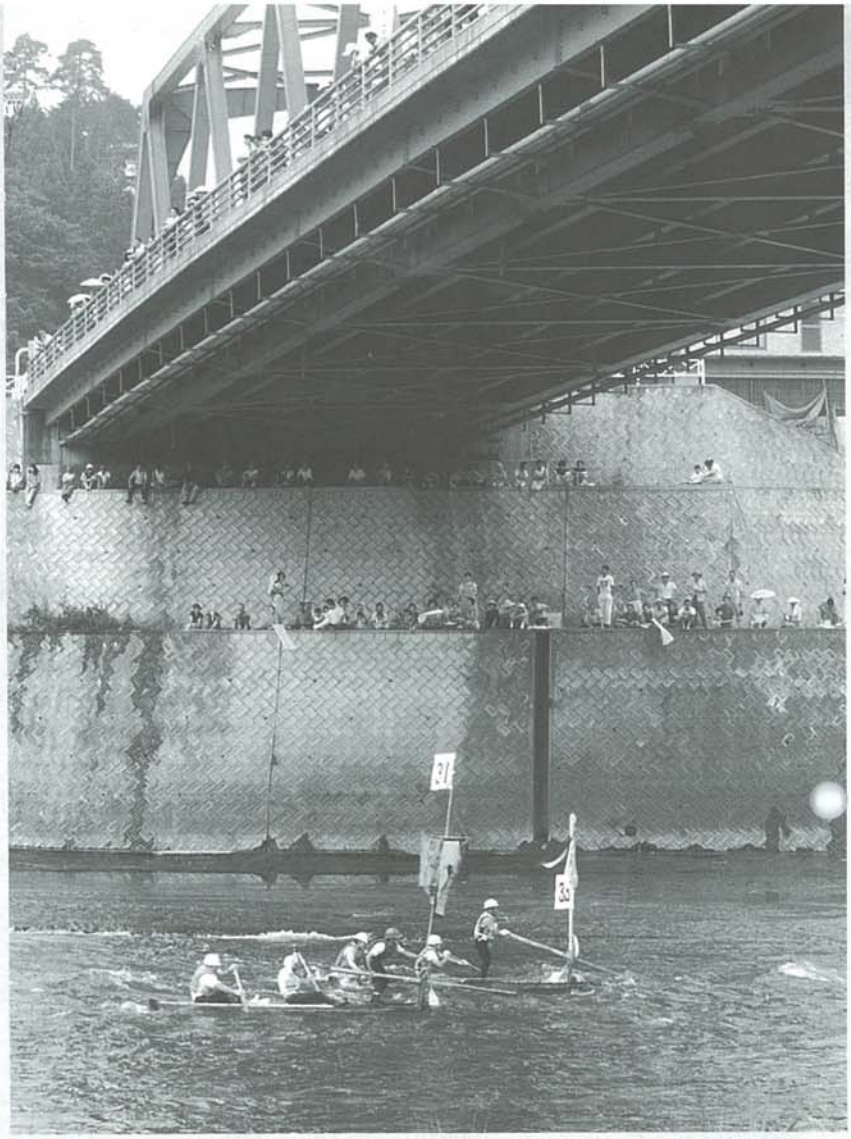
優勝	ヒゲの丸太丸	(早坂　弘次・伊藤　宏行・伊藤　好隆)
準優勝	栗木沢火消し丸	(遠藤二三夫・遠藤　秀昭・志藤　政尚)
3位	清野建設2世号	(高橋　和則・石塚　聴・小原　安夫)
4位	天神丸II	(布施　栄悦・鈴木　広美・鈴木　俊昭)
5位	東ソー丸	(石沢　富雄・後藤清太郎・小野　政雄)

一番の見せ場〝お八天〟での死闘

終わってしまえばこの余裕



激流最上川もこの辺は悠然とした流れ

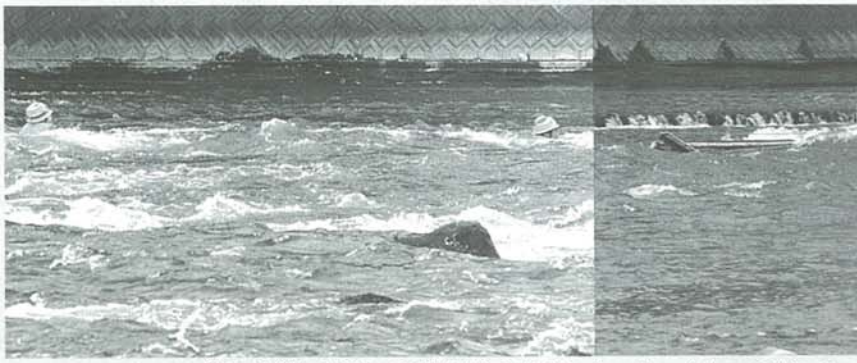


五百川橋に鈴なりの応援団。ガンバッテー

カメラさんぽ

コロラドの川よりスリルがありそうだね！
（アメリカ・イカダ青年隊）

大会初の優勝にわく県外チーム一行



一瞬の油断から置いてきぼりをされました。オーイまってくれ!!

やがて「老い」超高齢化社会がおとずれる。

私は今、四十代。老後はまだまだ。しかし、高齢化社会の要因に「少子化」があげられ、この子供達が成人に達した時、何歳かしら？　そう考えると、今は四十路でも老後を考えない訳にはいきません。ベビーブーム時代に生まれた私は、なおさら心配になります。

イキイキ人生の「花の生涯」

九十歳を越えてなお踊りを続ける武原はんさん、現役の高校の書道の教師うめ子先生、六十年間、亀の子タワシを作り続ける七十九歳のおばあさんなどなど。映像を通じてですが、活躍している多くの人々をみるとまぶしくさえ感じられます。また町内にも毎日元気に活躍しているお年寄りがたくさんいると思います。

私の父は七十六歳ですが、自営業主として、私の夫と共に毎朝早く仕入れに行き、帳簿の記入。店にも立ちます。母は七十六歳、目を離せない孫の子守をしながら、畑仕事、漬物作りなどすべてこなします。

「人生八十年時代」を迎え、「老後は人生の付録ではない」と、よく言われることです。老後はのんびりしたいと思う人、また、常に何かに挑戦しようとする人。人それぞれで、様々な生き方、考え方があると思います。その人がどのような人生を過ごしてきたかによっても違ってくるのでしょうが、少なくとも一日一日を前向きに生きていきたいものです。

「花の生涯」とは、人の一生を一年草の花にたとえ、美しく咲いて秋には一斉に枯れていくというのです。そう言えば「コロリ観音」という観音様がおられます。長く床につかないで、コロリと死にたいものだという願いを込めて、母なども茶を飲みながらよく話をしています。

「花の生涯」という言葉は、かなり積極的な生き方のニュアンスを持っているように思います。そして、その基盤となるのは健康と経済的なもの、加えて夫婦共に長生きできることではないでしょうか。

老後への備え　健康と経済基盤

若い時ならともかく、老後に関しては健康という意味はだいぶ違ってくるのではないでしょうか。長く生きれば、肉体的にも精神的にも異常が出てきて当然です。問題はその程度であって、老後の健康を治療しながらでも充分に生活出来る状態と考えてよいのではないかと思うのです。

新記録ラッシュ　町小体連水泳大会

七月十七日、宮宿小学校で小体連水泳大会が行われ、大会記録が次々とぬりかえられました。次に優勝者を紹介します。

▽50m自由(男)若月直毅(西小)
　同　(女)清野奈美(宮小)
▽50m平　(男)小松　徹(大舟木分)
　同　(女)佐々木千香(大谷小)
▽50m背　(男)佐竹　光(西小)
　同　(女)阿部真子(宮小)(新)
▽50mバタ(男)熊谷雄司(和合小)(新)
　同　(女)伊藤由香里(宮小)(新)
▽100m自由(男)佐竹裕樹(西小)
　同　(女)柴田宏美(宮小)(新)
▽100m平　(男)鈴木寿幸(和合小)
　同　(女)安藤　恵(宮小)
▽200mメドレーリレー
　(男)西五百川小
　(女)宮宿小A(新)
▽200mリレー
　(男)西五百川小
　(女)宮宿小A(新)

レベルアップする水泳大会

健康を保つための基本的なことは、ここであえて述べませんが、ただ長い間の食生活が老後にも関わってくる訳ですから、今のうちから充分気をつけなければならないのは当然であります。

また、しっかりした老後を送るためには経済的基盤がぜひ必要であることは言うまでもありません。ちなみに、男女の平均余命を基盤に、総務庁統計局の「家計調査年報六十三年度版」の六十歳から六十四歳と六十五歳以上の消費支出を参考に退職後の生活費を計算すると、八千百二十六万円程度の生涯資金が必要となるということです。財団法人大蔵財務協会で、この内、平成元年改正のモデル年金を計算し、先の生涯資金から差し引いて、約二千三百五十九万円の不足となるそうです。

生活のしかたは、人それぞれで必要経費も当然違ってくる訳ですが、今の私には途方もない金額でピンとこない反面、一円のむだ使いも出来ないのだろうかという、暗い気持ちになります。さらに私達が老齢に達する頃は老齢化社会のピークに当たり、年金もこのままの水準で支給されるかどうかもわからないでしょう。

しかし、落ちこんでばかりもいられません。現在の生活も楽しみながら、老後の資金をつくるにはどうしたらよいか、さらに考えなくてはならないと思っております。

今、私にできること

私が老齢と呼ばれる頃は、この社会がどんなふうに変わっているか、想像もつかない部分もあり、それだけに一つピンとこないのですが、やがて老いを迎える自分が今、出来ること、すべきことは何かを考えてみました。

最近、「介護体験レポート」(全国公募による入選作品集)を知人にみせてもらいました。十七人のレポート集で、この中にみられる共通点は、介護の仕事は自らの心身を害するほどつらく悲しい。しかし、そんな日々の中から、家族の愛が強くなり、やがて自らも悟り、介護を全うすることが出来たというものでした。

また、このレポートとは別にごく親しい知人が脳こうそくで倒れ、老人世帯だったために、妻が介護にあたりました。言語を失い、まひもあり、七年間寝たきりの生活を送り、亡くなりました。県外だったため、私も行くに行けず、結局、年老いた妻が持病と戦いながら介護をし通したのですが、最もつらかったのは、七年間も口もきかずに過ごさなければならなかったことだとぽつんと言いました。

他人の介護体験を見たり、聞いたりした時、大変だったろうなあという共感とともに、もし私が倒れたらだれに介護してもらえるだろうか、いずれにしても、だれかには世話してもらわなければならないという思いがわいてくるのです。しかし「不安」とは別のものです。そう思うと、今、私に出来ることは、両親を始め人にはやさしくし、自分に出来ることなら力を惜しまないということではないかと思います。

親も子も、それぞれ自分の人生を歩むのはそれなりに意義深いものですが、将来それが当然になりすぎて、親孝行とか思いやりの気持ちが薄れてしまわないだろうかという懸念が頭をよぎります。子供の教育のためにも「人にやさしくすること、力を惜しまないこと」を心掛けていきたいと思います。

(教育広報委員　松田吟子)

東北剣道チャンピオンに兼子洋くん輝く

第十七回東北中学校選抜剣道大会において兼子洋くん(朝日中三年・大谷一)が個人の部で見事優勝しました。また準優勝には鈴木和史くん(朝日中三年・大谷五)が、団体戦でも、朝日中男子が準優勝するなど朝日少年剣士が大暴れしました。

準優勝の朝日中男子剣道部

東北の覇者・兼子洋選手

年々

こせきのまど

■7月1日～31日届出

すこやかに（出生届）

区名	出生児氏名	父名
大隅	鈴木麻理奈	和夫
大谷三	白田沙織	卓
大谷二	大谷結華	良勝
杉山	安藤雄太	信彰
本町	鈴木碧	正明
沼向	菅井達也	英逸
夏草	阿部友里恵	恵寿

おしあわせに（婚姻届）

西町	天童市	
佐藤欣治	♡	千葉芳子
長沼	栗木沢	
阿部広幸	♡	志藤久美子

やすらかに（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
宇津野	海野はるよ	博
前田沢	今井喜太郎	幸雄
栄町	大竹たま	春一
小原	中村トヱ	和晴
佐藤うめ		一義
常盤	鈴木徹二	誠一
立木	古川光之助	征一
栄町	武田イソ	光雄

●大　町／鴨田　慎治さん
　一美さん

さわやか新婚さん

２人は仙台の専門学校の同級生。７年間にわたって大切に愛を育み、めでたくゴールイン。慎治さんは仙台でコンピューター技師をしていましたが、一美さんの魅力に引かれ跡とり息子として、家業の建設関係の仕事をしています。一美さんの手料理でお父さんと一緒に晩酌をするのが何よりの楽しみとか。

にぎやか好きの２人は「子供は最低３人、和気あいあいの隠しごとのない家庭にしたい」と話してくれました。　（鈴木高光　広報委員）

人口と世帯数

●平成２年７月31日現在

人口		10,697（5）
	男	5,300（3）
	女	5,397（2）
世帯数		2,591（2）

（　）内対前月

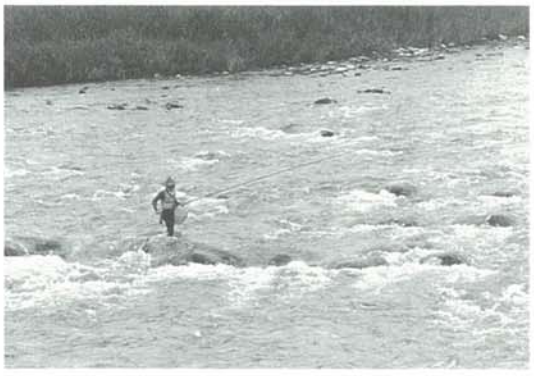
9月23日（秋分の日）

朝日町ワインまつり

●開場　正午
●会場　上郷ダム公園
●入場券　大人三、五〇〇円（小学生一、〇〇〇円）
●前売券発売日　八月二十一日㈫午前九時
●前売券発売所　㈲朝日町ワイン・農協・商工会・役場商工観光課

●社会福祉協議会へ
老人福祉に役立てて下さいと本町の佐直信雄さんから現金二十万円いただきました。

水の事故に気をつけて



春夏秋冬　編集後記

〝暑さ〟を〝熱さ〟と書きたくなるような連日の猛暑つづき、暑中お見舞い申し上げます。

この暑さの中、所用で急に上京することになり、何年かぶりで汽車に乗った。新装なったJR左沢線の車両に乗車すると、汽車通学をしていた頃とはまるで違い、E電なみの座席配置とクリーム色を基調とした明るい雰囲気にびっくり。

上野駅までは、山形、福島で乗り換える煩わしさはあるが、缶ビールを飲みながら車窓の風景を眺めたり、お隣さんと世間話に花を咲かせたり、なかなかいい気分である。

ビュッフェ（食堂車）で、ガイドブックと時刻表を片手に楽しそうに話している夫婦に出合った。足の向くままの気ままな旅とか。私もきっとやろう。でもその頃は、白髪やしわの目だつ熟年だろうか。（K）